

日本共産党

10月議会
一般質問

公立あまだのみや幼児園の移転候補地は 土砂災害警戒区域イエローゾーン！！



市は、あまだのみや幼児園の移転予定地を森新池とした理由として、「既存の園から近く、環境の変化を最低限に抑えられる」「森新池は市の土地であり、借地料の削減ができる」などをあげています。

しかし、土砂災害や活断層など、安全性についての視点が抜

「安全性」の視点が抜け
落ちた計画

また、この安全性を顧みない民営化スケジュールありきの計画は、命に無責任なものと言わざるを得ません。

日本共産党は、子どもの命を最優先に考え、移転予定地の計画変更を求めました。

交野市は、命に責任を！ 日本共産党は移転地変更を求める

交野市は、平成32年4月から公立あまだのみや幼児園の民営化を実施する計画をすすめています。また、今の園舎の移転建て替え予定地を森南にある森新池としています。しかし、この地域は大阪府が注意喚起している「土砂災害警戒区域（イエローゾーン）」にかかっています。

市長は、選挙公約や所信表明演説で「安心安全なまちづくり」を訴えています。危険だと指摘されている場所に、あえて幼児園を持つてくるというのは矛盾しています。

かたの 民報 議会版

2018年10月28日
NO. 1700

【発行】
日本共産党
市会議員団

ご相談は市役所
議員団控室へ

私部 1-1-1
☎ 892-0121
(内線 301)



中上 さち子
倉治 6-17-13
☎ 893-6785



さらがい ふみ
星田 7-44-21
☎ 894-2835



藤田 まり
私部西 2-16-13-310
☎ 397-3027

け落ちていくことは大きな問題です。

日本中で大規模災害が相次ぐ昨今、市民の命を守るため、想定外を想定した計画にすることは行政としての責任です。

地域住民の合意も得られていない

10月11日（木）に開催された、森区民を対象とした「森新池造成工事」に伴う住民説明会には、45名を超える方が集まりました。しかし、そこで出された意見は、「こんな話は初めて聞いた」「この計画には払拭できない様々な不安が残っている。上のほうで勝手に決めて押し付けるのはおかしい。」など、地域住民の合意すら全く取れていない状況が浮き彫りとなりました。



交通面でも多くの危険性

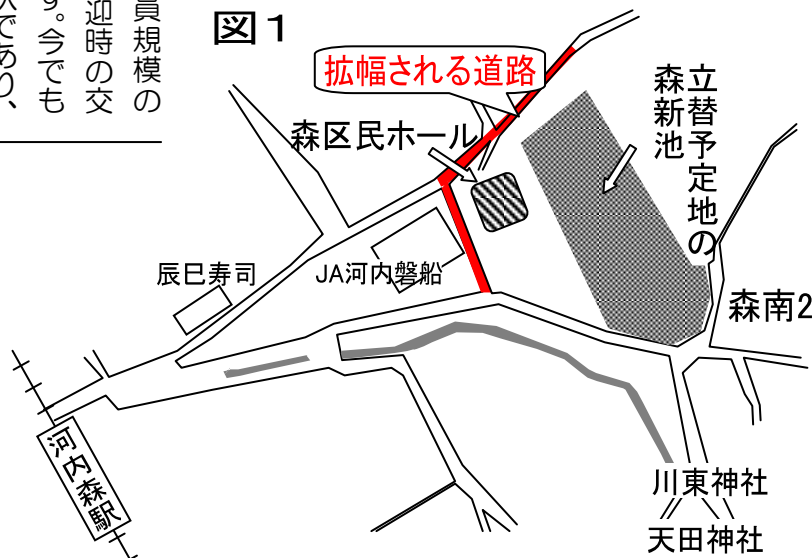
造成工事期間中：

約三ヶ月間（日・祝は除く）、毎日10tダンプが40台往復する計画です。この地域は道が狭く、駅近のため交通量が多い場所です。さらに大型車の交通量が増えれば交通事故の危険性は格段に増えます。

開園後：200人定員規模の園を予定しており、送迎時の交通量は確実に増えます。今でもごった返している現状であり、駅近という立地からも行き来を急ぐ方も多いところ。そのような場所に大規模園舎が建設されれば渋滞・交通事故は本間に大丈夫なのでしょうか。

市の対応：造成地の周辺の一部道路を拡幅予定。

図1



※拡幅される道路は一部にすぎず、その先に続く道路は狭いままのため渋滞・交通事故の危険性は回避できません。

日本共産党は、地域の安全性や住民の平穏な生活を守るためにも、移転予定地は見直すべきだと求めました。